



# わっHAッ歯新聞

2023年  
2月号

## 歯周病は糖尿病の合併症の一つ

歯周病は以前から、糖尿病の合併症の一つと言われてきました。

さらに最近、歯周病になると糖尿病の症状が悪化するという逆の関係も明らかになってきました。つまり、歯周病と糖尿病は、相互に悪影響を及ぼしあっていると考えられるようになってきたのです。

その反面、**歯周病治療で糖尿病も改善**することも分かっています。

歯周病菌は腫れた歯肉から容易に血管内に侵入し全身に回ります。血管に入った細菌は体の力で死滅しますが、歯周病菌の死骸の持つ内毒素は残り血糖値に悪影響を及ぼします。血液中の内毒素は、脂肪組織や肝臓からのTNF- $\alpha$ の産生を強力に押し進めます。

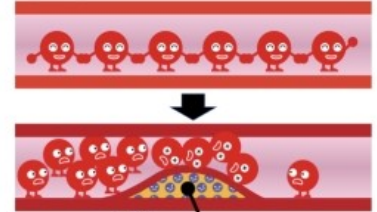
TNF- $\alpha$ は、血液中の糖分の取り込みを抑える働きもあるため、血糖値を下げるホルモン(インスリン)の働きを邪魔してしまうのです。

歯周病を合併した糖尿病の患者さんに、抗菌薬を用いた歯周病治療を行ったところ、血液中のTNF- $\alpha$ 濃度が低下するだけでなく、血糖値のコントロール状態を示すHbA1c値も改善するという結果が得られています。

内毒素とは?……細菌の細胞壁に含まれる毒物。  
細菌が死滅しても毒は残る。

TNF- $\alpha$ とは?…腫瘍壊死因子とも呼ばれている。  
免疫機能が正常な人では、(正常値1.79 pg/ml以下)「がん細胞を破壊する」「傷を治癒する」「体内に入ったウイルス・バクテリアを排除する」などの働きを持つが、体内バランスが取れないほどにTNFが増殖すると「炎症を引き起こす」「動脈硬化・糖尿病のリスクを高める」などの悪影響を及ぼす。

正常な血管



歯周病菌の死がいてできた粥状のかたまり

## 歯周病と高血圧

最近の研究では、歯周病が重度の人は、そうでない人と比較して高血圧である割合が2倍も高いことがわかってきました。歯周病にかかっていると、血圧を下げる薬が効きにくくなります。ご存知のように、高血圧は、脳出血や脳梗塞、心筋梗塞などのリスクを高めます。

特に高血圧は自覚症状がほとんどないため、患者の多くが心血管疾患ハイリスク状態であることに気付いていないことが多い。

全身の健康状態を良好にするための手段の一つとして歯周病予防ができればと思います。



## 喫煙による歯周病への影響

たばこの煙や成分は、口の中に入ると粘膜や歯ぐきから吸収されます。吸収されたたばこの有害物質は、血管を収縮し、歯ぐきの血流量を減少させます。血液循環が悪化して歯ぐきに十分な酸素がいきわたらなくなると、歯周ポケットの中で歯周病の原因となる細菌が繁殖しやすくなります。

実際に治療を始めても歯肉の治りは悪く、処置を行ったとしても効果の現われ方が非喫煙者よりも低いのです。

ニコチンは体を守る免疫の機能も狂わせますので、病気に対する抵抗力が落ちたりアレルギーが出やすくなります。更に傷を治そうと組織を作ってくれる細胞の働きまで抑えてしまいます。

